



● 草の根パートナー型

平成22年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	カンボジア国コンボンチャム州における持続可能な農業生産環境の構築
3. 事業の背景と必要性	カンボジア国コンボンチャム州サムロングコミュニティでは、2000年代の10年間に急速に化学肥料や農薬の施用量が増大している。単位面積当たりの農業生産量は増大したものの、有機成分の減少に伴う土壌劣化や池沼での水質汚濁が顕著に見られる他、適正な濃度調整や農薬散布を行わないために現地農家の健康被害が頻発している。このサムロングコミュニティの現地農家は、減化学肥料・減農薬を目指して資源循環型農業の導入を希望しているものの、ほとんどの現地農家が基本的な堆肥づくりの知識も有しておらず、実際の施用に至っていない。
4. プロジェクト目標	コンボンチャム州サムロングコミュニティ内11村において、環境に配慮した資源循環型農業を軸とした生産活動が強化される
5. 対象地域	カンボジア国コンボンチャム州ブレイチョール地区サムロングコミュニティを拠点とした州内広域
6. 受益者層	サムロングコミュニティ内11村の地域住民（1,714世帯、（男性4,023名、女性4,088名））、スロングスクールクラスターに所属する10小学校（小学校教員86名、小学生2,714名）およびサムロング・プレンプレイAgriculturalcooperative
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 活動実施のための基盤が整う 持続的農業推進グループが形成され、減化学肥料・減農薬を目指した資源循環型農業が普及される ペレット堆肥加工センターが設置され、環境保全型堆肥が安定して施用される 地域における特別栽培農産物の流通が促進され、販売を目指す現地農家が増加する 食農環境教育を通して資源循環型農業の知識を有した将来の農業分野の担い手が育成される 事業評価報告会やニュースレターの発行を通して、カンボジア国におけるネットワークが強化される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 活動基盤の整備 持続的農業推進グループの形成と資源循環型農業の推進 ペレット堆肥加工センターの設置・運営 特別栽培農産物の流通・販売の促進 農業分野の担い手育成の推進 資源循環型農業の普及を目的としたネットワークの強化
8. 実施期間	2011年4月～2016年3月（5年）
9. 事業費	98,326千円
10. 事業の実施体制	特定非営利活動法人環境修復保全機構（代表者）と学校法人東京農業大学（構成員）の共同企業体で実施する。カンボジア国においては、カンボジア王立農業大学、農林水産省、サムロングコミュニティ等と連携して事業に当たる。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人環境修復保全機構（代表者）と学校法人東京農業大学（構成員）との共同企業体
2. 活動内容	特定非営利活動法人環境修復保全機構は、日本を含むアジア諸国における農業的および都市的開発と自然環境との調和を目指した環境修復保全に取り組み、環境教育啓蒙の活動を通して、自然資源の持続的利用に寄与することを目的に活動している。